



クラスで取り組んでいること

☆次の日の予告や持ち物をお家の人に伝え、自分で用意ができるように声をかけています。

子どもが自らできるように
励ましてみて下さいね！

今月の聖句

「受けるよりは与える方が幸いである。」

(使徒言行録 20章35節)

今月の賛美歌

♪ わたしたちはロバの子

わたしたちはロバの子です 馬のように速く走れない
ライオンのような力なんかない
ただのちっぽけな ロバの子です
ただあなた知ってますか
ロバが主のお役に立ったこと
イエスさまを 背中にお乗せして
エルサレムにお連れしたことを
走れなくても 強くなくても
いつもイエス様がいてくれます
わたしたちはロバの子です 神様のために働きます

今月の歌

♪ ありがとうのはな

ありがとうっていったら みんなが笑ってる
その顔が嬉しくて 何度もありがとう
街中に咲いてる ありがとうのはな
風にふかれ 明日に とんでゆく

ありがとうのはなが咲くよ
きみの街にも ほらいつか
ありがとうのはなが咲くよ
みんなが笑ってるよ

1,2学期とこぼと3組で過ごしてきた子どもたちは仲のいい友達の集団ができていたり「この子と遊びたい」と特別感を持ってお友達と過ごす姿が見えてきました。子どもたちの成長を感じる一方で、言葉の伝え方がまだまだ成長途中で相手を傷つけてしまうこと、仲間に入れず悲しい思いを感じている子もクラスで度々見かけるようになりました。言葉の大切さや、相手の思いに気づきかけになってほしいと思い「ふわふわとちくちく」の言葉のお話と、お部屋でよく見かけるトラブルをペープサートにして伝えました。お話としてみることで、子どもたちも「こうしたほうがいいよ！」「今の言葉ちくちくやったな」と気づく姿が見られました。子どもたちに考えてもらった言葉を模造紙に掲示して置いていると「だいすきやって♡」「嫌いっていややな」とつぶやく姿がありました。「ほかにも思いついた言葉があったら書いていいよ」と声をかけて話し合いは終わったのですが、後日「思いついた言葉があるけど文字が書けない」と相談に来てくれる子がいました。お友達に教えてもらいながら、ひらがな表から1文字ずつ探して一生懸命書いていました。ひらがなを教えたり、全員で書いてみる時間はお部屋ではないですが、クラス活動を通して文字に興味を持つきっかけになったようです！また、おうちでふわふわとちくちく言葉の絵本を作って持ってきてくれる子がいました。ペープサートの内容を基にオリジナルの絵本でした。周りにいたお友達と読ませてもらうと「私も絵本作ってみたい！」と話す姿がありました。子どもたちは様々なところで言葉を吸収しています。言ってみると相手を傷つけてしまったこと、言われて嫌だったこと、中には言われて嫌だったから使ったという心の動きも見られます。他者との関わりが広がると言葉の使い方トラブルになることは増えていきます。吸収した言葉をどのように使ったらいいのか考えている期間にいる子どもたちには、言葉は思いを伝えるための大切な物であると同時に、目には見えないけど相手を傷つけてしまうこともあることを伝えていきたいと思っています。使ったらダメな言葉としてちくちく言葉を子どもたちに伝えるのではなく、どうして使わないほうがいいのかを子どもたちと一緒に考えています。おうちでも子どもたちにお話し聞いていただけると嬉しいです。エピソードも是非聞かせていただければ幸いです。



「あけましておめでとう！」のごあいさつと共に3学期がスタートしました。「ひさしぶり！」とお友達に声をかける姿や、久々の登園で涙していた子もいました。身支度しながら「サンタさんがね…」「お年玉って知ってる？」「〇〇行ってきた！」と楽しい冬休みの思い出をたくさん聞かせてもらうことが出来てとても嬉しかったです。

1月は伝承遊びを中心に自由遊びを過ごしてきました。はがきを書いてお友達に届ける郵便屋さんやコマ回し、たこなど興味を持って取り組んでいます。干支に興味を持った子がいて、クラスにも十二支の表を飾っているのですが、表を見て「わたしのししどし」「え、いっしょや！」「わたしねずみ」と話す声も聞こえていました。コマ回しや凧あげなどこれからも遊びを通して昔ながらの文化を子どもたちに伝えていきたいと思う日々でした。寒さが一段と冷え込み、雪が降っていた時もありましたね。保護者の皆様もご体調が守られますようお祈りしています。クラスでも手洗い・うがいの声掛けをしていますが、また気になることなどございましたら、いつでもお声掛けください。また、お忙しい中、アンケートのご協力、個人懇談のご参加ありがとうございました！子どもたちのおうちで楽しんでいることなど、ご様子聞かせていただきとても嬉しかったです！3学期もよろしくお願いいたします。

朝から動物さんたちに会えることを楽しみにしていた子どもたち！お忙しい中、たくさんのお野菜のご協力ありがとうございました。少しドキドキする気持ちで動物を遠くから覗いている子や早く触りたくて「まって！！」と追いかける子とそれぞれに動物たちとの触れ合いを楽しみました！「また来年！」と動物さんたちに声をかけて手を振っていた子どもたちです♡



大根を育ててくれた先生のお話を聞き、大根抜きを行いました。「大きすぎる！」と抜くことに苦戦していた子どもたちでしたが、収穫できた時の表情はとても素敵で「まま喜ぶかな？」「何作ってもらおうかな？」と楽しみにしていた子どもたちでした。



伝承あそび



○こま 作り始める前に子どもたちにコマの紹介をした時から「早くやりたい！」と声上がるほど、コマ遊びに関心を示していた子どもたち。油性ペンで塗り込んでいく際も、隙間がないように時間をかけて塗る姿や好きな色をたくさん作る子、苦戦しながらも模様を描こうとチャレンジしていたり世界に1つの素敵なコマができました。はじめはひもを巻くことと素早くひもを引くことが難しく、なかなか思うように回せない様子でした。悔しくて涙を流す姿も見られましたが、最後までチャレンジしている子が多く、出来た時には「せんせい！みていて！！」と自信満々にコマを回す姿を披露してくれました。

諦めず最後までやり遂げようとする子どもたちの姿に、にコマ遊びを通して成長を感じることができました。コマを回せるようになると遊びをどんどん広げていく子どもたちで、ひもをコマの下に置いて回転に巻き込ませて渦を作ったり、新しい回し方がないか工夫する姿がありました。

○凧あげ 「こうさぎさんのときと違う！」と去年を思い出し活動に取り組む子どもたち。全面1色で塗り込む姿、好きなキャラクターの絵を描く姿と子どもたちそれぞれの素敵な凧が完成しました。少しずつこだわりも出てきて「失敗したから…」といいものを書きたい思いから、何枚もチャレンジする姿やみんなに見られることを感じ、ぎりぎりまで活動に参加しない姿がありました。子どもたちの心が成長している証しだなとひしひしと感じています。たくさん楽しんだこまや凧製作はおうちに持って帰っていますので、ぜひご家庭でも楽しんでいただけると嬉しいです。

